

0歳から
入場できます♪

千葉県誕生150周年記念

2023
8 / 11
(金・祝)

夏休み子どもシアター

ベイベーシアター 『KUUKI』

クロマチックアコーディオンの生演奏とダンスが
生み出す、美しく、やさしい、甘美な時間。
18ヶ月以下のベイベーとご両親のための舞台芸術です。

開演 ①11:00 / ②14:00
上演時間 約60分

会場 青葉の森公園芸術文化ホール
ホール舞台上

入場料 大人・子どもペア1,500円
大人 1,500円 / 子ども500円
(0~18か月)

※本作品は0か月~18か月の
お子さまが対象となります。

定員 各回20組

出演 かとうかなこ
松田紀子
はらだまほ



うみをこえて

～邦楽とピアノのコンサート～

海をこえて、世界の有名な曲を
笛・ピアノ・アコーディオンで演奏します。

開演 ①13:00 / ②15:30
上演時間 約30分

会場 青葉の森公園芸術文化ホール
練習室

入場料 全席自由500円 (3歳未満無料)
※0歳から入場可

定員 各回30名

出演 鳳聲晴久 (笛)
大口俊輔 (ピアノ)



プレイガイド

【電話・窓口販売】

青葉の森公園芸術文化ホール (043-266-3511)

主催



公益財団法人
千葉県文化振興財団

後援

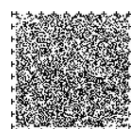
千葉県

助成



文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)
独立行政法人日本芸術文化振興会

この音声コードを
スマホアプリ(Uni-Voice)
で読み取ると音声情報で
ご確認いただけます。



ベイベーシアター 『KUUKI』

『KUUKI』は日本児童・青少年演劇団協同組合が、ポーランドから演出家と美術家を招へいし、日本のアーティストと一緒にデバイジング(集団創作)で創り上げた鑑賞から体験までを同時に楽しめるパフォーマンスです。劇場に入るとクロマチックアコーディオンによる音楽が会場全体を包み込み、居心地の良い安心できる空間を創出します。ベイベーに寄り添いながらも、ベイベーたちの好奇心を刺激する作品です。

出演者プロフィール

かとう かなこ

大阪府豊中市出身。4歳からアコーディオンをはじめる。全日本アコーディオンコンクール、第6回(小学生の部)、第7回(ジュニアの部) 第1位、また第8回(総合)で優勝を果たす。高校卒業後フランスに渡り、4年の留学中、全仏コンクールでも各部門で3度第1位を獲得する。フランス帰国後全国でコンサート活動を中心に、舞台や演劇などの音楽制作を行う。フランスや北欧のダンス音楽など多くのレパートリーを持つが、特にオリジナル曲のファンが多く、CMディレクター、写真家、演出家など多くの制作関係者からの使用依頼が多い。現在9枚のアルバムをリリース。

松田 紀子

劇団ひまわり所属。俳優としての活動の他に、ダンス講師や身体表現のワークショップ・ファシリテーターなどの活動もしている。主な出演作に、『家なき子』ジョリクル役、『クレパージュプリンセス』アリーテ姫(主演)、『アイズウルフ』アナトゥ(主演)、『BABY LOVE』マユミ(主演)、『コルチャック先生と子どもたち』ステーシング・振付。劇団ひまわり70周年記念公演『風の人たち』(2023.8) 振付指導。また、児演協の海外との乳児向け舞台製作は『KUUKI』の他に、『ベイベーミニシアター』(0~2歳児向け韓国と児演協の共同製作)にも取り組んでいる。

はらだ まほ

振付家、パフォーマー。立教大学現代心理学部映像身体学科卒。言語と身体の関係性を中心におどりについて多面的に思考し、動作からおどりになる瞬間や身体が踊り出す瞬間にこだわって作品を紡ぐ。ベイベー作品への参加は、2015年山の音楽舎『うたのたね』、2016年日本児童・青少年演劇団共同組合制作『BABY SPACE』、2017年『KUUKI』、2018年『ベイベーミニシアター』など。2021年に創作した『ベイベーシアターNIDO』で豊岡演劇祭2022やYPAMなどに参加し、ベイベーシアターの普及に努めている。乳幼児親子から大人を対象とした世代別おどりのワークショップ『からだのことでおしゃべりしよう』を開催するなど、ジャンルや世代を問わずパフォーマンス・振付・ワークショップといった多様な活動を展開している。

うみをこえて ～邦楽とピアノのコンサート～

予定曲目

浜辺の歌
beyond the sea
リンゴ追分
星になった少年
ほか

※曲目は変更になる場合がございます。

出演者プロフィール

鳳聲 晴久

千葉県佐倉市出身。東京芸術大学邦楽科卒。9歳で大叔父の西村尚己に祭囃子の手ほどきを受け、15歳で国指定重要無形民俗文化財「江戸里神楽」若山流四世家元若山胤雄(わかやま たねお)師に祭囃子、神楽囃子を師事。18歳で邦楽囃子笛方の名手として知られる鳳聲流分家元、鳳聲晴雄師(若山胤雄師の邦楽における芸名)に長唄囃子を師事。2004年鳳聲晴久の名を許される。長唄の囃子および神楽や祭囃子の笛の演奏家として活躍中。またジャズのセッションや、芸大時代に萩森英明(ピアノ)・多井智紀(チェロ)・石渡大介(竹笛)で結成した、チェンバーオーケストラ「EKI-BEN LIVE」公演では、オリジナル曲を中心に実験的な音作りに挑み続けている。2012年からは新潟市の依頼で廃絶した「角兵衛獅子」囃子の復元に着手し、地域の演奏家を育成するなど演奏・研究・教育など様々な分野で多面的な才能を発揮している。2020年SINE TERMINO ANTIQUA CONSULERE 2020配信リリース。

大口 俊輔

東京芸術大学卒業。作曲家、ピアニスト、アコーディオン奏者。景色や香り、物語のある音楽を創造し、演奏会、演劇、ファッションショー、映画、絵画等、その時、その空間に想像できるファンタジーと夢を創る音楽家。これまで数々の演奏会、プロジェクトを手がけて来たが、音楽への興味だけにとどまらないことから、TAO COMME DES GARCONSのパリコレクション(FW2008-2009・SS2009)への楽曲提供や、蜷川幸雄の舞台出演など、異なる業種との仕事も多い。最近では、狩野派の最高峰とされる狩野永徳の作品『上杉本 洛中洛外図屏風』(国宝/伝国の杜 上杉博物館所蔵)への楽曲提供と演奏、森美術館のプロジェクト『不平の合唱団』への合唱曲提供、映画「イエローキッド」(真利子哲也監督)への楽曲提供などがある。その他、ピアノ奏者として、のためオーケストラとの共演や、活動弁士 坂本頼光と共に無声映画のための作曲演奏、絵本作家ミロコマチコさんの絵本に音楽を提供するなど、様々なフィールドにて活動している。チャンキトルネードでは、インドネシアでの海外公演より、このバンドの特徴でもある大胆な演出を担当。CD『CHANCHIKI TORNADE』の制作にあたっては楽曲アレンジを含めトータルディレクションを手掛けた。

交通アクセス

バス

- JR千葉駅中央改札(東口)より
2番のりば 星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分
7番のりば「中央博物館」下車 徒歩約10分
- JR蘇我駅東口より
2番のりば 大学病院行き「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分

電車

- 京成千原線 千葉寺駅より 徒歩約15分

車

- 京葉道路松ヶ丘インターより約10分
- 千葉東金有料道路 千葉東インターより約10分

